

「1者応札・1者応募」となった契約の改善方策について
(平成26年度第2四半期)

独立行政法人家畜改良センター

1 共通的な改善方策

- (1) 「1者応札・1者応募」(以下「1者応札」という。)の発生原因については、契約の類型ごとに異なる点も多いが、多くの類型に共通する原因としては、
- ア 発注者側が業務の品質確保の観点から企業や技術者に求めている実績要件、資格要件に対応した事業者が不足していた場合があったこと
 - イ 受注者側が、資格要件、業務内容からみて業務の確実な履行が行えるかの経営判断を行い、応札を断念する場合があったこと
- 等が考えられる。
- (2) このため共通的な改善方策としては、
- ア 企業や技術者に求める実績要件、資格要件について、競争性の確保を図る観点から、業務の品質確保を図りつつ、必要最小限のものとする
 - イ 応札しやすい環境整備を図るため、
 - (ア) ホームページの調達情報を事業者側からみて分かりやすいものに改善する
 - (イ) 公告時期の早期化や企画書等の作成期間を十分確保する
- 等を行うこととする。

2 類型ごとの改善方策

〔物品の購入〕

① 飼料等の購入

- (1) 1者応札となった原因としては、
- ア 育種改良のため配合を指定した飼料を調達する必要があるため、近隣で対応できる業者が限定される
 - イ 防疫体制上、飼料の加熱や運送等に厳しい条件を付す必要があるため、近隣で対応できる業者が限定される
- ということが考えられる。
- (2) 1者応札の改善方策としては、
- 1者応札となった原因を考慮すると有効な方策を見だしにくい、公告期間を十分にとり、必要な情報提供を行い、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図ることとする。

② 凍結精液(肉用牛)の購入

- (1) 1者応札となった原因としては、
- 遺伝的能力の向上を遺伝的多様性の確保のため、あらかじめ能力と血統から凍結精液を特定しているため。
- (2) 1者応札の改善方策としては、
- 調達品目の仕様に関する情報提供を適切に行い、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図る。

③ ホイルローダ(岩手牧場)の購入

- (1) 1者応札となった原因としては、
- 仕様を満たす機種が、一機種だったため。
- (2) 1者応札の改善方策としては、
- 仕様の設定を最低限のものとする。

〔役務〕

① 物品（トラクター）のファイナンスリース

- (1) 1者応札となった原因としては、
入札に必要な資格がない又は指定した期限までに入札書を提出せず、2社が失格となったため。
- (2) 1者応札の改善方策としては、
入札に必要な資格の取得及び入札書の提出期限について、余裕をもって周知徹底を図る。